

《東京加害者臨床研究会:第16回例会》ご案内

=加害者との面接でお困りの現場の方に、朗報です。=

DV防止法の施行以後、精神科クリニックや相談室に來所するDV加害者が増えており、加害者の心理療法の方法論に関する研修の必要性が高まっています。しかし、加害者は言い訳や自分の考えの正当化などにより変化しにくく、臨床家にとって独特な困難を感じさせます。

心理相談機関“メンタルサービスセンター”では、その代表・草柳和之(下方にプロフィールあり)が創案し体系化した、加害者の変化を促す有効なアプローチを、2001年5月より『DV加害者心理療法研修会(二日間)』を通して提供してきました。この研修会は毎回好評を得ており、参加者から、より発展した研修の要望が寄せられてきたため、2014年5月、この分野に関心ある臨床家が集まり、自主運営の研究会を立ち上げました。

本研究会の活動によって、日本の臨床家が加害者に対して効果的な面接ができるような“臨床力”の底上げに貢献していきたいと考えています。関心のある方のご参加をお待ちしております。

♪

- このアプローチは被害者支援との整合性を大切にしており、被害者の面接にも大いに役立ちます。
- こだわりの強い加害者クライアントを揺さぶり、臨床家のペースに持っていく面接スキルがあります。
- 加害者クライアントの面接に関して、戸惑いなく確信をもった方針で運営できるようになります。
- 本研究会で学ぶスキルの多くはbrief therapyの応用で、他の困難ケースの面接に広く活用できます。

♪

- 参考論文:草柳和之「DV加害者更生プログラム——体系化された加害者の心理療法序論」
『こころの科学 No. 172/2013. 11』(日本評論社)
- 草柳和之「加害者臨床事始め、そしてDV加害者に特化した心理療法の構築へ」
『精神療法 Vol. 41, No. 1/2015. 2』(金剛出版)

【例会内容予定】

- ・加害者の心理療法の理論の基礎をレクチャー、講師による面接の実演、スキルトレーニングを実施する。
- ・参加者から加害者ケースを報告いただき、困難を感じた面接場面にしぼって、講師による解説とデモンストラクションを行う。(長期の面接経過は極力取り扱わず、個人情報是最小限にする)

【日時】2018年2月18日(日)14:00~17:00(終了後、懇親会)〈次回:5月いずれかの土曜日〉

【講師】草柳和之(大東文化大学非常勤講師)  平成27年度・社会貢献者表彰を受賞 

【参加費】3,000円(初回参加の方2,000円)

【会場】東京ボランティア・市民活動センター:新宿区神楽河岸1-1セントラルプラザ10階
案内図=http://www.tvac.or.jp/page/tvac_access (JR総武線飯田橋駅1分)

【申込み・予約:東京加害者臨床研究会世話人】

健康科学大学 健康科学部 福祉心理学科
専任講師 鈴木真吾 shsuzuki@kenkoudai.ac.jp
Tel. 0555-83-5287 (直通)

☞下のメンタルサービスセンターのHPに情報あり。
<http://www5e.biglobe.ne.jp/~m-s-c/>

.....■ “加害者臨床”の言葉について■.....

草柳和之による造語。雑誌『現代のエスプリ No. 491: 加害者臨床』(至文堂, 2008年)として特集されたように、近年、徐々に専門家の間で、この用語が使用されてきている。この言葉の初出は、草柳和之の論文「加害者のDV克服支援からの新たな視点——フェミニズムと“加害者臨床”の統合モデルに向けての試論」『国立婦人教育会館研究紀要第4号, 2000』である。

↓ ↓
裏もご覧下さい!

《講師紹介: 草柳和之》

メンタルサービスセンター代表・カウンセラー。大東文化大学非常勤講師。DV被害者支援に携わると同時に、日本で初めてDV加害者更生プログラムの体系的実践に着手、その方法論の整備、専門家研修の提供等により、この分野をリードしてきた。日本カウンセリング学会東京支部会・運営委員。

著書に『ドメスティック・バイオレンス』(岩波書店)、『DV加害男性への心理臨床の試み—脱暴力プログラムの新展開』(新水社)他、多数。

家庭裁判所・国の研究機関・自治体・弁護士会・大学・学会等から、幅広く講演や研修会の依頼を受けており、その優れた研修指導は多くの人々から支持されている。

日本カウンセリング学会認定カウンセラー、NLPマスター・プラクティショナー。

長年のDV問題の先駆的・模範的取り組みが評価され、社会貢献支援財団より、平成27年度社会貢献者表彰を受賞した。

研修会記録映像・面接デモンストレーションと解説

※長年、効果的な面接法を追求してきた講師による、卓抜したワザとコツがたちどころに分かります。見ると思わず引き込まれます。いずれも音声・画面は十分鑑賞に堪える状態です。

【講師】草柳 和之(大東文化大学非常勤講師/メンタルサービスセンター代表・カウンセラー)

■頒価:350円(送料別) [問合せ]メンタルサービスセンター

<http://www5e.biglobe.ne.jp/~m-s-c/> Tel.03-3993-6147、070-5016-1871

※研修会 DVD は、内容の性質上、専門職・研究者・学生の方のみ販売としています。

→下記以外にも研修会記録映像あり。詳細はメンタルサービスセンターHP をご覧下さい。

◆2015.2.8(日)《東京加害者臨床研究会第4回例会》

「他罰的な加害者の自己防衛を緩めるための、ゆさぶり技法の基本」

◆2015.5.30(土)《東京加害者臨床研究会第5回例会》

「加害者の行動変容のための Solution Focused Approach の活用」「ゆさぶり技法の応用」

◆2015.8.2(日)《東京加害者臨床研究会第6回例会》

「セラピストがパニックに陥った時の立直し方」「責任転嫁する加害者を効果的に変化させるコツ」

◆2015.11.7(土)《東京加害者臨床研究会第7回例会》

「保護命令を出されて怒る夫への対応—妻の手記をもとに夫の立場で主張してみるエクササイズより—」

「妻と激烈な対立をしたケンカ場面—方針とスキル」

◆2016.2.21(日)《東京加害者臨床研究会第8回例会》

「ソツなく話す加害者への対応—自己防衛を緩めるための『細かなフィードバック技法』」

「DV 加害者の被虐待経験をどう扱うか—父の臨終場面で手紙を読み上げるアプローチ」

⇒被害体験を DV 加害の言い訳にしないために

◆2016.5.21(土)《東京加害者臨床研究会第9回例会》

「リソースの発見とスキル化の工夫—面接を楽に進めるための秘訣」⇒M. エリクソン療法の応用

—CI の僅かな変化を見逃さない/偶然の出来事を変化に活用する/上手にほめ、上手に警告する—

◆2016.9.11(日)《東京加害者臨床研究会第10回例会》

「アニメ『アルプスの少女ハイジ』によるエクササイズ」

—立てなくて嘆くクララに対し、ハイジの祖父が行った「3分間カウンセリング」が効果的なワケ—

「離婚を受容するための加害者へのアプローチ」

◆2016.11.26(土)《東京加害者臨床研究会第11回例会》

「出ていった妻を取り戻したい—一心で来所した加害者のモチベーションを整える」

—尊重と直面化の絶妙の案配とは?/再来所へとつなぐための種蒔きの仕方—

◆2017.2.21(日)《東京加害者臨床研究会第12回例会》

「家で外食した時、夫が妻を非難した場面—>いかに認知を変え、言動を変化させるか」

—子どもへのケア/パターン化された手続きの行動修正を実施するロールプレイ/何のための買い物か?—

◆2017.5.13(土)《東京加害者臨床研究会第13回例会》

「加害者臨床とジョイニング~『妻が家を出るほど追い詰めた』ことの直面化とのバランス配分」

◆2015.8.23(日)《DV 被害者支援スキルアップ研修会》

「タイプ別援助のコツ:話が止まらない被害者への対応—ペーシングとリード、リフレミングの活用」

◆2016.8.20(土)《DV 被害者支援スキルアップ研修会》

「DV と認識するのを避けている被害者への対応—クライアントの抵抗を活用するスキル—

「別居する決心がつかない被害者への対応/イメージ誘導のワーク—葛藤を丁寧に拡大する—

◆2016.8.21(日)《DV 被害者支援スキルアップ研修会》

「『夫を更生プログラムに行かせたい』と語る被害者への対応—CI が選択・判断する力を高める」

「『あなたは悪くない』と被害者に伝えるのを効果的にするためのスキル」